

■ 銘柄:東京白金 ■

氏名 田栗 満

目先の基調転換、4506円を目指す動き・・・



■ コメント ■

本日の白金は、43円安の4593円で終わっている。東京(15:30)の白金スポットレートは1585ドル。
寄り付きからNY市場を受け、東京市場は夜間立会の終値から大きく反落して始まった。午前中に付けた安値4583円を午後には再度下回り4581円まで下値を追ったが、日計りの買戻しも入り4593円で終わっている。中国の経済指標は、事前予想を上回る景気回復が鮮明となり、リスク許容度の高まりなど投機に対する楽観ムードもあったが、2月の中国新規融資が1月の1兆3900億元から7001億元まで減少し、銀行の融資取り消しなどの効果が現れている。本日の東京市場の値動きは、前日比での下落幅は43円安だが、高値4678円から85円近く下落をしており、連日の乱高下は高値に対する重たさを物語っているのではないかと。特にストキャスティクスや相対力指数(RSI)など目先調整ありといった雰囲気を見せており、今晚のNY市場での値動きには注意が必要と判断する。特に東京市場は、逆算すると1589ドルで終わっており、円安やドル建て価格が前日の安値1570.8ドルを下回って終わる様であれば、東京市場でも10日の安値4506円を試す可能性が高まるのではないかと。(16:08記 田栗)

■ テクニカル ■

移動平均(10MA)	4511円
移動平均(40MA)	4475円
RSI(9日)	61.34%
%D	85.3
slow%D	90.03

商品先物取引のリスク

商品先物取引は、期限・レバレッジのある取引です。取引証拠金の額に比べ約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、日々の値動きにより、短期間の間に大きな利益・大きな損失を被る可能性があります。
詳細につきましては、みんなのコモディティ研究所右上に掲載されている『取引の重要事項』をご確認ください。